

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 762 事業名 真舟芸術振興基金事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項		真舟芸術振興基金事業		

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
取組	1	市民主体の芸術・文化活動の促進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	若手芸術家の育成や伝統文化の承継を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 書道講習会事業 著名な書道家の指導により、「かな書道」を正しく理解し、表現力や創造力を培うことを目的とした講習会を開催し、その成果を展覧会の形で発表する事業 海外派遣事業 和歌山市の芸術文化振興と芸術家の育成をはかる目的で、海外の芸術を学ぶことを支援する事業 子ども和太鼓ワークショップ事業 子ども達に和太鼓の鑑賞や実演する機会を提供することで、日本の伝統文化の継承等を図る事業 				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		書道講習会 夏期 8月11日～13日 受講者数 51名 冬期 2月10日～11日 受講者数 23名 和太鼓ワークショップ 市内小学校10校にて実施 参加者数 746名 海外派遣 文化芸術振興のため海外派遣希望者を支援 派遣者 3名	書道講習会 夏期 8月11日～12日 受講者数 61名 秋期 11月23日 受講者数 22名 和太鼓ワークショップ 市内小学校10校にて実施 参加者数 769名 海外派遣 文化芸術振興のため海外派遣希望者を支援 派遣者 3名	書道講習会 夏期 8月10日～11日 受講者数 48名 秋期 11月26～27日 受講者数 16名 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 参加者数 345名 海外派遣 文化芸術振興のため海外派遣希望者を支援 派遣者 1名	書道講習会 夏期 8月18日～19日 秋期 11月頃 和太鼓ワークショップ 市内小学校5校にて実施 海外派遣 文化芸術振興のため海外派遣希望者を支援 派遣者 1名	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	8,624	6,685	10,571	6,610	7,610	4,341	7,231			
	伸び率 (%)	-	-	22.6%		-28.0%		-5.0%			-100.0%
	人件費	常勤職員	11,047	5,430	11,047	3,512	3,512	3,414	3,414		
		非常勤職員	1,563	309	1,795	617	617	1,256	1,256		
		小計	12,610	5,739	12,842	4,129	4,129	4,670	4,670		
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他	8,624	6,685	10,571	6,610	7,610	4,341	7,231				
一般財源 (税等)	0	0	0	0	0	0	0				
所要人数	常勤職員	1.44	0.71	1.44	0.46	0.46	0.45	0.45			
	非常勤職員	1.07	0.18	1.07	0.27	0.27	0.49	0.49			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	講習会等開催数	年度目標値			15	15	15	15	15
		実績値			16	13	7		
	単位	回	全体目標値	全体目標達成度	80.0%	年度別達成度	106.7%	86.7%	46.7%
	海外派遣応募者数	年度目標値			5	5	5	5	5
		実績値			4	3	3		
単位	人	全体目標値	全体目標達成度	66.7%	年度別達成度	80.0%	60.0%	60.0%	
成果指標	講習会等参加者数				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	講習会等参加者数	年度目標値			2000	850	400	400	400
		実績値			823	855	409		
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	81.3%	年度別達成度	41.2%	100.6%	102.3%
	海外派遣者数	年度目標値			5	5	5	5	5
		実績値			3	3	1		
単位	人	全体目標値	全体目標達成度	60.0%	年度別達成度	60.0%	60.0%	60.0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	和歌山市出身の書道家、故山本真舟氏の遺志により作られた「真舟基金」を活用し、平成18年度にスタートした事業である。ようやく成果が表れ始めたところであり、今後益々の充実を図らなければならない。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	